



二輪草だより

平成26年8月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定

◆9月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより9月号発行

「医学概論ワークライフバランスを考えよう」終了報告

副センター長 間宮敬子

平成26年8月18日、医学科3年生を対象として「医学概論ワークライフバランスを考えよう」と題して演習を行いました。朝8時40分から夕方4時20分まで1日かけて、講義やグループディスカッションを通して医師のワークライフバランスを考えていただきました。出席者は、102名でした。

まず、教育センターの蒔田教授からご挨拶いただいた後、二輪草センター助教の菅野先生から「医師のワークライフバランス問題と二輪草センター」と題してお話がありました。ご自身の経験を紹介しながら女性医師の出産のタイミングや子供を産んだ後の保育園、ファミリーサポートセンターなどの社会的資源の活用方法、二輪草センターのコンセプトをわかりやすくお話いただきました。グループ討論では昨年までのケース別のディスカッションではなく、今年はキャリアプランを考えると課題のもとに、女子学生、女性医師のキャリアプランを立ててもらいました。13グループに分かれ、3つのシナリオについて、キャリアプランをたて、質問に対しての答えを議論してもらいました。それぞれのグループで、活発な議論が展開されていました。



グループ発表では、夫(男性医師)にも育休をとってもらおうという意見が沢山出ていました。どんどんキャリアアップを目指していくプランや育児短時間勤務制度などを利用して少しゆっくりキャリア形成を行うプランなど、さまざまなキャリアプランが紹介されました。また、育児中の女性医師に対して、家族や友達、同僚、上司はどの様にサポートしたらよいかという問いに対しても、活発な意見が交わされました。

先輩医師の体験談では、皮膚科の島村先生、リハビリテーション病院の小山先生、検査部の赤坂先生、血管外科の東教授にご自身のこれまでの経験をお話していただきました。島村先生は妊娠・出産・育児をしながら、キャリアを継続することの大切さを話してくださいました。



小山先生

小山先生には育ボスの経験とリハビリテーション病院のサポートシステムについてお話いただきました。赤坂先生には先生ご自身の子育て経験と、たくさんのお友達や後輩の先生方の経験をお話いただきました。東教授には奥様が作成されたというスライドに先生独自のお考えを加えてこれまでの先生と奥様のキャリアと結婚生活の様子を具体的に真摯にお話いただきました。4人の先生方は、学生にとって良いロールモデルになったことと思います。



東教授

また、このワークライフバランスの講義の過去2年間の活動と学生さんへのアンケート結果を7月に和歌山県立医大で開催された日本医学教育学会で発表してきました。秋田大学の蓮沼先生は、秋田大学、神戸大学、旭川医大が連携してワークライフバランスの講義を行っていることも発表して下さいました。

最後になりましたが、授業を開催するにあたってご協力いただいた教育センターの蒔田教授、健康科学講座の吉田教授、タスクフォースとして参加くださった諸先生方(解剖:吉田教授、教育センター:蒔田教授、地域医療教育学:野津先生、フロンティア講座:住友先生、薬剤部:粟屋先生、検査部:赤坂先生、病態代謝内科:安孫子先生、眼科:高宮先生、皮膚科:堀先生、耳鼻科:岸部先生、病理:山本先生、二輪草センター:山本教授、菅野先生)にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



夏休みキッズスクール終了報告

平成26年7月28・29日の二日間に第13回夏休みキッズスクールを開催し、総勢23名の子ども達に参加しました。

第1日目、開校式で元気に「二輪草キッズのテーマ」を歌って、楽しいキッズスクールの始まりです。最初のプログラムは風鈴作り。プラスチックの芯材に紙粘土を貼り、それから好きな形を作っていきます。お花を飾ったりサッカーボールの形にしたり、イルカやクマやカメを作ったり、とても素敵な風鈴が出来ました。それから、体育館に行って鬼ごっこや大縄跳びをして遊び、お弁当タイムとなりました。

午後からは、眼科の木ノ内玲子先生の「自分のからだを知ろう～目の仕組みと働き」という特別授業です。スライドや実験を通して、目の仕組みや片目や両目の見え方の違いなどを知ることが出来ました。特に、片目を絆創膏で隠して暗い部屋に移動し、暗い中での目の見え方の違い(暗順応)を実験した時には「全然ちがう!」「左目の方がよくみえる!」と歓声が上がっていました。その後は学生ボランティアの皆さんが「大きな目をつくってしくみを知ろう(目の模型づくり)」と「みんなの目を守るために☆眼球戦隊アイレンジャー」という劇を行って下さいました。趣向を凝らした劇にみんなは大喜び!楽しい中で目の健康について学ぶことが出来ました。

第2日目はバスに乗って美瑛町に行きました。まずは体験館ラヴニールでパンとうどん作り体験です。パン作りチームとうどん作りチームに分かれて、一生懸命作りました。粉だらけになりながら、パン生地を丸めたり、うどんを麺棒で伸ばして切ったり...出来上がったものは半分ずつ分けて、それぞれ美味しく頂きました。モチモチの焼き立てパンとツルツルの打ち立てのうどんをお腹いっぱい食べて、大満足の笑顔でした。

午後には、ファームズ千代田のふれあい牧場に行き、動物たちとふれあいました。馬や牛、ポニーやラマやヤギなど動物がたくさん!中でもうさぎと羊が大人気で、ウサギ小屋で生まれたての子ウサギを見たり羊に草をあげたりと、暑い中でも楽しそうに走り回っていました。帰ってきてから閉校式で校長先生に終了証をもらい、キッズスクールは終了しました。あつという間の二日間で、子ども達も学生さんも、最後は名残惜しそうにお別れしていました。

今回も学生ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。お忙しい中、子ども達の為に準備し楽しい企画を行って下さり、子ども達と一緒に楽しく過ごして下さいましたことに心から感謝しております。また、ご協力頂いた各部署の皆様にも心よりお礼申し上げます。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【7月20日～8月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	1回	利用回数	1回
バックアップナース	依頼回数	12回	稼働回数	11回
病児・病後児保育室	依頼回数	14回	利用回数	9回
カウンセリング相談			利用回数	3回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp 開設時間8時30分～17時15分

